

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスTRANSIT		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 2月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 2月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の原籍校との連携(月に数回、対面または電話連絡)	月に数回の訪問や、電話連絡で、担任や支援級の先生との情報交換を行っている	現在は保護者を通じて、各関係機関からのフィードバック等の情報共有を受けているが、直接関係期間と関わってはいない。そのため、現在の原籍校との連携のように、積極的に関係機関とも関係を構築していけばさらに充実できると考えている。
2	文化祭や夏祭り等のイベントへの参加で、地域の同世代の子どもとの交流の機会は十分用意できている。 また、週替りでの活動プログラムを作成し、実験や工作、調理、イベントなど、毎月内容を変えて、利用者を飽きさせない体験活動の機会を与えている	活動場所として、奥の部屋は小上がり(裸足でくつろげる)、個室スペースといったようにゾーン分けしており、あらゆる特性を持った利用者が少しでも快適に過ごせるよう、また特性に応じた支援ができるよう心がけている	今後はもっと多様な体験活動ができるよう、質も量も増やしていければと思う
3	保護者からのご意見や相談などは、教室のLINEや電話等を使って受けており、それに対するアドバイスを適宜行っている	保護者会の定期開催(年2回)、公認心理師による保護者面談(月1回の無料カウンセリング)	保護者会や保護者面談の実施回数を増やしたり、利用者保護者だけでなく一般の保護者も参加してもらって親の会を実施するなど、工夫していければと思っている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・様々なマニュアルは用意しているが、参照する利用者がいない ・またマニュアルに対応した訓練は行っていないため、実際に緊急事態に陥った際に役に立たない可能性がある	・周知が十分でないため ・マニュアルの内容を精査できていないため	・マニュアルの場所と内容を明確にし、十分過ぎるほど利用者に周知する ・今後マニュアルに沿った訓練ができるよう努める
2			
3			